

平成29年12月13日

輸送動向について（平成29年11月分）

1. 輸送概況

今月は、中旬に発生した東海道線落石等の影響により、月全体で高速貨14本が運休となった（前年は、高速貨57本、専貨6本が運休）。台風18号の影響で不通となっている日豊線については、トラックによる代行輸送を実施している。

コンテナについては、積合せ貨物がドライバー不足を背景に鉄道へのシフトが続き、関東・東海・関西発九州向けを中心に好調に推移した。食料工業品では大阪発北陸向けのビールに加え、北海道の菓子、山陰地区の飲料が順調に推移した。農産品・青果物では北海道の生野菜の出荷が旺盛となったほか、東北・富山地区の民間流通米の出荷が堅調であった。また、自動車部品では関東・九州間で荷量が大きく落ち込んだものの、全体としては前年を上回った。

一方、家電・情報機器は関東・関西地区からの発送が低調となり、前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比102.9%となった。

車扱については、配送圏の見直しに伴い鉄道シフトが進む石油が好調に推移したが、セメントでは定期修繕時期が変更となったことから、前年を大きく下回った。その結果、車扱全体では前年比98.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比101.7%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,002	1,945	102.9%	14,961	14,483	103.3%
車 扱	805	816	98.7%	5,512	5,435	101.4%
合 計	2,807	2,761	101.7%	20,473	19,918	102.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	218	211	7	103.7%
	化学工業品	183	183	0	100.0%
	化学薬品	134	131	3	102.6%
	食料工業品	319	311	8	102.6%
	紙・パルプ	274	272	2	100.8%
	他工業品	136	135	1	101.3%
	積合せ貨物	254	238	16	106.8%
	自動車部品	76	72	4	105.9%
	家電・情報機器	36	38	-2	94.8%
	エコ関連物資	44	38	6	116.0%
	その他	326	317	9	102.9%
	コンテナ計	2,002	1,945	57	102.9%
車 扱	石油	576	546	30	105.5%
	セメント・石灰石	99	133	-34	74.4%
	車両	77	80	-3	96.6%
	その他	51	56	-5	92.6%
	車扱計	805	816	-11	98.7%
	合 計	2,807	2,761	46	101.7%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）